

◆本庁舎移転先の液状化を暴く！

松尾市長が本庁舎移転しようとしている場所は、神奈川県 e カナマップでは液状化レッドゾーン→

※松尾市長は私の市議会一般質問答弁で、「再検証の結果液状化しないとの判定」

この結果について専門家に助言を求めたところ、「想定地震動の考え方や検証結果等に特段の問題はない」との回答を頂いたと答弁。「専門家の意見を聞いた」とお名前が上がった、関東学院大学の規矩理事長は「盛土層は液状化しない」と言われているが、全体として液状化しないなどとは言われていない。面談記録を抜粋して下記に添付。…

①深さ13mから20mのシルト層は液状化の可能性がある

N o. 3 (多目的広場※新庁舎等塔の敷地の最寄)の調査地点については液状化の可能性はどうか。

→今の土木の基準ではシルト層も液状化を判定しなさいとなっているため、深さ13mから20mのシルト層は液状化の可能性があると思う。ただし、シルト層の上にはN値30以上の

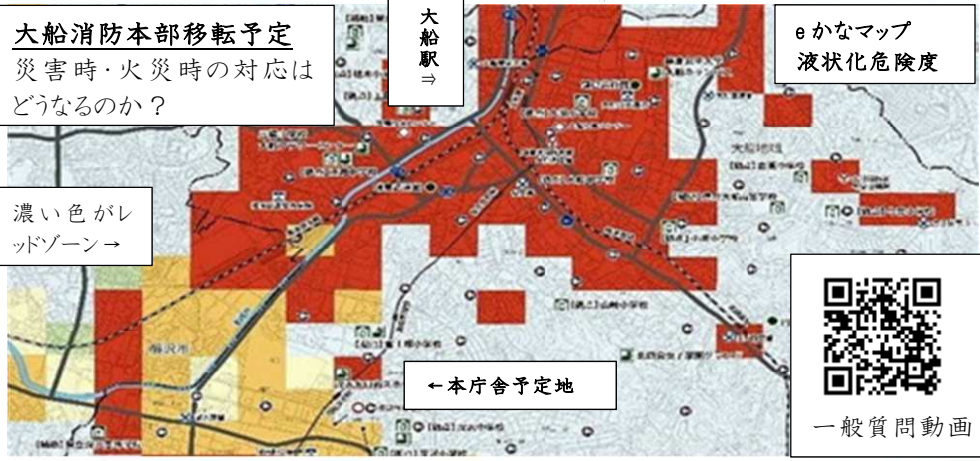
②7~8m位深では液状化する可能性はある

柏尾川に近い方は地盤が緩いため注意する必要はあるが、データそのものは報告書の結果を使用すればよく、新たにボーリング調査を実施する必要はない。

N o. 4 (市場付近)の調査地点を350ガルで計算した場合、表面的な被害はそれほどではないが7~8m以深では液状化する可能性はある。

③ e カナマップは参考として見るべきもの

実際に設計するときには、現地調査を基に設計するべきであり、e カナマップは参考として見るべきものである。想定範囲内で被害を受けた場合は我々の責任となるが、それを超えた部分はリスクとして許容せざるを得ないと言っても良いのではないかと思います。



◆鎌倉市議会議員長嶋竜弘 (完全無所属) 第167号4期目34号(令和6年度予算号)

稲村ガ崎小学校→御成中学校(ブラスバンド部)→茅ヶ崎高校→和光大学→さいか屋→東急ハンズ→西友→道の駅店長等、自転車整備士有資格者
メール:kamakurasi@gmail.com 住所:極楽寺2-6-10-201

この地域は長嶋が自らポステイングして配布して15年になります。

◆議員報酬・市長給与を上げた鎌倉市議会！

議案第85号 鎌倉市常勤特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第83号 鎌倉市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について

3月1日の本会議で採決が行われました。
反対したのは、私と千一議員の2人だけでした



内容詳細
総務常任
委員長報告
動画

○長嶋から下記意見を付しました

・議員報酬(議案第83号)

国会議員の裏金問題等で国民から厳しい目が向けられている中、議員報酬を上げるべきではない。

・市長・副市長・教育長給与(議案第85号)

現在のわが国の様々な社会状況を鑑みて、常勤特別職の給与を上げるべきではない。

議員は給与では無く報酬です

議長、副議長、議員の月額報酬一覧表

議長	副議長	議員
月額579,000円	月額520,000円	月額479,000円

このほか、調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、議員に対して政務活動費(議員1人当たり月額50,000円)が交付されます。政務活動費、私は15年間一度も使っていません。



革命はTVに映らない暴露TV
毎週水曜日20時~ネット生配信番組。多彩なゲストをお招きして、政治・時事問題を、映画監督小楠けんじさんとお届けしています。
X、Facebook、長嶋 blog から入れます



◆令和6年度予算松尾市長の暴挙、その結論！

約3億円の新庁舎基本設計債務負担行為が含まれた予算可決！

新庁舎等基本設計及びDX支援業務委託事業費	令和6年度から令和7年度まで	294,965
-----------------------	----------------	---------

⇒令和4年12月議会で本庁舎を深沢に移す条例は否決

本庁舎深沢移転はできない状態

⇒それにもかかわらず新庁舎基本設計約3億円の債務負担行為を設定

⇒我々側でこの新庁舎基本設計約3億円を削除する予算案修正案提出

しかし、賛成10 vs 反対14で修正案否決

⇒そして、令和6年度鎌倉市一般会計予算は賛成多数で可決

この、ありえない予算を削除する事は出来なかった。

今後予算が執行された場合、違法性が問われる事になる。

予算に賛成した議員はその事を理解しているのだろうか？



長嶋予算討論

◆令和6年度一般会計予算修正動議…(294,965千円他削除の提案)

議案第99号令和6年度鎌倉市一般会計予算に対する修正動議

提出者：くりはらえりこ、千一、長嶋竜弘 ・賛成者：藤本あさこ、岡田和則

①一般会計予算の歳出から、総務管理費の基本設計者選定審査会委員報酬と旅費257,000円を削る。

②令和6年度から令和7年度までにわたる債務負担行為である新庁舎基本設計予算294,965,000円を削除する。

ありえない予算。建てられる見込みが無いのに、設計会社に設計を依頼する建物が普通あるであろうか？
こんなデタラメを行政がやって良い訳がない。

◆削除修正案採決結果

▼予算削除反対議員

- ×(神奈川ネットワーク運動鎌倉) 保坂令子、井上三華子
- ×(公明党鎌倉市議会議員団) 大石和久、納所輝次、児玉文彦
- ×(夢みらい鎌倉) 前川綾子、日向慎吾、中里成光
- ×(無所属) 竹田ゆかり
- ×(自民党無所属の会) 中村聡一郎、森功一、志田一宏、後藤吾郎、くり林こうこう(くり林議員は最近自民党会派に入った)

△予算削除賛成議員 (本庁舎移転反対メンバーと同一)

- (日本共産党鎌倉市議会議員団) 高野洋一、武野裕子、吉岡和江
- (無所属) 松中健治、千一、長嶋竜弘、出田正道、藤本あさこ
- (銀河鎌倉) くりはらえりこ、岡田和則

◆予算採決時「深沢新庁舎基本設計債務負担行為の設定部分」長嶋討論

深沢新庁舎基本設計の債務負担行為の設定については断固反対である。

本庁舎の位置を移す条例が否決になっている中で、深沢新庁舎基本設計の予算執行を行うと言う事は、行政実例として前例が無く、議会の議決に基づかない事務は執行できない、と言うのが総務省の見解であると聞いている。

また、多くの市民の皆様から、議会で否決されたことをあたかもなかったかの如く進める市役所は、常識的に考えておかしい、市の広報のありようにも疑問を持つ、などの大変多くのご意見を頂いており、到底賛成できるものではない。

深沢地域整備事業の本庁舎や消防本部などの公共施設を新築移転、駅や大型ショッピングセンター、UR賃貸住宅を誘致、などの計画の中身は、まるで絵に描いたようなバブル期の頃のような、時代錯誤の開発の計画案である。これらの中身は市民合意を得たものではなく、利権の為に「ありき」で進められており、本庁舎の位置を移す条例が否決になっている中で、深沢新庁舎基本設計の債務負担行為の設定にを行うと言う行為が、利権の為に「ありき」で進められている事の象徴であると言える。松尾市長はいかに丁寧の説明して市民合意を得ているかのような答弁をしているが、全くの虚偽である。

市長が言われている、深沢へ本庁舎・消防本部を移転して司令塔にして災害に備えると言う提案は、鎌倉で起こりうる激甚災害時の対応策として間違ったものであり、これをよしとしている方々は、能登半島地震、東日本大震災で起こった実態を全く勉強していない素人であり、一度能登半島に行ってボランティア活動なりをしてその実情を見てからものを言うべきである。

何度も申し上げているが、道路が整備されていない場所が災害時、災害対策の司令塔になるであろうか？深沢地域はただでさえ道路環境が悪く、交通に支障があると共に、歩行者の安全確保にも問題がある。現在の計画通りの開発を行った場合、交通量は増加して更に支障が発生する事は目に見えている。更に本庁舎移転予定地と近隣は液状化が懸念される場所であり、市内各地との連携を取るには道路が寸断された場合陸の孤島となり不適切な場所である。津波による大きな被害が想定されている中で、深沢本庁舎を司令塔とした場合、沿岸部に迅速に救助に向かう事ができるであろうか？また液状化が懸念される大船地域に向かうのはどうであろうか？江ノ電、モノレールは運行できない状況になる事は想定される事態であり、被害を受けた沿岸部の市民の皆様や大船地域の市民はどうやって本庁舎に行くのであろうか？災害時の司令塔の場所が緊急交通路指定想定路から一番遠い場所である事などは話にならない事である。深沢が敵地であると誘導した審議会の先生方の罪は非常に重いと考える。

更に、消防本部を深沢に移転して大船に消防署が無くなっても消化活動に問題は無い、との答弁が繰り返されているが、こんな騙しを平気で答弁する姿勢も到底許す事ができないものである。また位置を移す条例提案の時に私が述べた10の問題点については、何の回答もいただいていないが、松尾市長は反対派の議員と懇談して解決の為に努力しているかのような答弁をしているが全くの嘘であり、このような嘘、騙しを平気でするような態度にはいずれ天罰が下るであろう

我々は今、利権の為にありきの提案をごり押しするのではなく、能登半島地震、東日本大震災の経験から学び、まず市民の皆様命を守る為の、災害対策、まちづくりを真剣に考えるべき時である。